

# 令和三(二〇二二)年度 入学試験問題 (一次)

## 国 語

令和三年一月二十三日

十三時三十分～十四時三十分

### 〈 全体的な注意事項 〉

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開けないでください。
- 二 この冊子の本文は、十六ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所などがあつた場合には申し出てください。
- 三 試験開始とともに、解答用紙の指定欄に受験番号・氏名を記入し、さらに解答用紙のマーク欄に受験番号をマークしてください。
- 四 解答は解答用紙の所定の解答欄に記入してください。
- 五 やむを得ずトイレに行く場合や質問がある場合には、無言で手をあげ、試験監督者の指示に従ってください。
- 六 解答用紙は、持ち帰つてはいけません。持ち帰つた場合は、失格となります。

### 〈 マーク記入上の注意事項 〉

- 一 解答は各設問ごとに指定された数だけ選び、該当する記号を塗りつぶしてください。
- 二 解答には、HBの鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
- 三 訂正は消しゴムできれいに消してください。

**第一問** 次の文章を読んで、後の問い（問一～問六）に答えよ。

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

問一 空欄 a ) d に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。ただし、

同じものを二度以上用いてはならない。

a 1 b 2 c 3 d 4

- ① たとえば      ② しかし      ③ なぜなら      ④ しかも  
⑤ まるで      ⑥ またもや      ⑦ だから      ⑧ もしくは

問二 傍線部 I 「それは『AIには恐怖心がない』ということだ」とあるが、この点に関して筆者はどのように考えているか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。 5

① AIに恐怖心がないのは、人間が最大限のコストをかけてでもリスクを回避しようとするのに対し、AIは最適なコストを瞬時に算出し、それにもとづいて常に合理的な判断を下し、行動することができるからである。

② AIに恐怖心がないのは、AIは一つの局面で想定されるすべての可能性を考慮した上で判断し、行動するので、見えない「闇」に存在するリスクに怯えることなく、一定の行動をとることができるからである。

③ AIに恐怖心がないのは、人間が「リスクはゼロにできない」という認識をもち、それにもとづき行動するのに対し、AIは始めからそのような「闇」を考慮することがないため、臆することなく行動できるからである。

④ AIに恐怖心がないのは、人間がリスクを最小化し、常に淡々と行動しようとするのに対し、AIは不安や怯えを感じる心の綾のようなものをもたないため、リスクをいとわずに最善の選択ができるからである。

⑤ AIに恐怖心がないのは、AIは間違いを犯す可能性を考慮に入れた上で、最適な判断をするように作られており、さらに学習を繰り返すことでその可能性を低減させ、リスクへの免疫も身に付けることができるからである。

問三 空欄

X

Y

選び、マークしなさい。

に入れるのに最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ

X

6

- ① 刹那的な危うさ
- ② 非科学的な世間知
- ③ 近視眼的な予測
- ④ 将来的な不確実性
- ⑤ 潜在的な危険

Y

7

- ① 行動してそのベネフィットの最大化を試みた
- ② あえて最大のリスクをとる道を選んだ
- ③ とりあえずやってみるといふ選択してきた
- ④ AIを制するべく果敢に行動してきた
- ⑤ そのベネフィットを独り占めしようとした

問四

傍線部2「この結果」の指示する内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。

8

- ① 新型コロナウイルスに対するワクチンが緊急輸入されたこと。
- ② ワクチンの輸入に膨大な額の国費が投入されていたこと。
- ③ 実際には新型インフルエンザは弱毒型であったこと。
- ④ 新型インフルエンザは世界的にあまり流行しなかったこと。
- ⑤ 緊急輸入されたワクチンのほとんどが無駄になったこと。

問五 傍線部3「『健康のためだったら、俺は死んでもいい』というような倒錯」とあるが、これはどういう状態を表したのか。

その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。 9

- ① ある特定の目的を達成するために、その目的を否定しかねないような犠牲もいとわないという、本末転倒した状態。
- ② 初めから達成が不可能だとわかっている目的のために、必要以上のコストをかけるという、不可解な状態。
- ③ 目的を達成するために行動しているうちに、いつの間にか当初の目的を見失ってしまうという、矛盾した状態。
- ④ ある一つの目的を達成するために、考えられうるすべての労力をつぎ込むという、常軌を逸した状態。
- ⑤ 設定した目的をとてつもなく大きなものと錯覚し、それに対し多大なコストを費やすという、逸脱した状態。

問六 次のイ～ホについて、本文の内容と合致するものは①に、合致しないものは②に、それぞれマークしなさい。

イ 人間は「闇」に存在するリスクをAI以上に恐れ、不安にとらわれてしまうので、新型インフルエンザ対策のような未曾有の難題に取り組む場合には、過剰な対策を講じることになる。 10

ロ 生物としての人間は進化の過程において、生存のためにリスクを回避する習性を身に付けてきたが、そこには個体による差も存在するため、社会的合意を形成する際には摩擦が生じることもある。 11

ハ 人間の行うリスク対策は、最終的には最大のものになる傾向があるが、2009年の新型インフルエンザへの対策では、そのことが見過ごせない規模のロスの発生につながった。 12

ニ 発生が予想されるパンデミックへの対策にはとてつもないコストがかかるが、かといって対策をとらなければ、パンデミックが現実のものとなったときに非難が起きるのは確実である。 13

ホ ゼロにすることはできないリスクとともに生きなければならぬということを認識し、運が悪ければ死ぬようなことがあっても新たなことに挑戦するのが、現代的な生き方であるといえる。 14

**第二問** 次の文章を読んで、後の問い（問一～問七）に答えよ。

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

問一 空欄 a ) f に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。ただし、同じものを二度以上用いてはならない。

a 15 b 16 c 17 d 18 e 19 f 20

- ① 必然                      ② 重篤  
③ 自己目的                ④ 圧倒  
⑤ 画一                      ⑥ 周知                      ⑦ 不都合                    ⑧ 因果応報

問二 傍線部1「高齢者のための養護施設という機能が、病院から剝奪されつつある」とあるが、それはどういうことであり、また、その結果どのようなことが起きていると筆者は考えているか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。 21

- ① 最近では、病院が最期まで高齢者の面倒を見る場所ではなくなりつつあるということであり、その結果、自宅で最期を迎える高齢者が僅かながら増えることになった。
- ② 最近では、病院が高齢者を養護するという機能をもはや果たさなくなりつつあるということであり、その結果、健康な高齢者の多くは自宅で生活することとなった。
- ③ 最近では、病院が高齢者に十分な医療を提供することができなくなりつつあるということであり、その結果、自宅で死亡する高齢者の数が増加することになった。
- ④ 最近では、高齢者が意に反して病院にとどまり続けることが減ってきているということであり、その結果、院内死と自宅死の割合がほぼ拮抗するようになった。
- ⑤ 最近では、高齢者が亡くなったあとのケアを病院が行うことが少なくなってきたということであり、その結果、「エンゼル・ケア」が自宅内で行われるようになった。

問三 傍線部2「隠しておくに若くはない」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。

22

- ① 隠しておいてはならない
- ② 隠すのにも限界がある
- ③ 隠しておいても構わない
- ④ 隠しておくのがいちばんだ
- ⑤ 隠すほどのことではない

問四

空欄

X

Y

選び、マークしなさい。

X

23

- ① 不可解な対象
- ② 関係のない異世界
- ③ 避けるべき場所
- ④ 物珍しい存在
- ⑤ ありがたい施設

Y

24

- ① 医療が生命の保続の役に立たない
- ② 一秒でも長い生命の保続を望む
- ③ これ以上の生命の保続を望まない
- ④ 生命を保持しても意味がない
- ⑤ 最初から生命の保続がままならない

問五 傍線部3「それ」の指示する内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。

25

- ① 死因
- ② 疫痢
- ③ 感染症
- ④ 主役
- ⑤ 肺結核

問六 傍線部4「それに逆らうことが不自然である」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。

26

- ① 現在の高齢社会では、人の死のほとんどが老化による「自然な死」として受け入れられつつあるので、それに異を唱えることは、社会の流れに逆らう反動的な行いであると考えられるから。
- ② かつては理不尽なかたちで命を奪われることも多かったが、今ではほとんどの人が穏やかに天寿をまっとうできるようになったので、あえて死に抵抗する必要もなくなったと考えられるから。
- ③ 高齢社会における死は、身体機能の劣化によってもたらされる「自然な死」であり、その意味では、現代の医療が死に介入し寿命を延ばそうとしても、結局は無力であると考えられるから。
- ④ 人間が不自然なかたちで命を奪われる状態から日本社会が脱し、誰もが自然にみずからの死を受け入れることができる状態に達したので、死は否定すべきものではなくなくなったと考えられるから。
- ⑤ 高齢社会における死の多くは、細菌などによって理不尽に命を奪われるというものではなく、したがって、それに逆らうことなく受け入れることが生き物として自然であると考えられるから。

問七 次のイ～へは、本文の表現や論の展開に関して述べているが、説明として適当なものは①に、不適当なものは②に、それぞれ

マークしなさい。なお、①～⑩は段落番号を示している。

イ ①では、筆者自身が肉親の死に立ち会ったときのエピソードが具体的に述べられているが、そのことによって、本文のテーマである死の社会相の変化が現実的な問題であることが印象付けられている。 27

ロ ②にある「X状」という表現は、自宅死と院内死の割合の経年変化を表す曲線が、一九七五年に交わり、それ以降では入れ替わっていることを、「X」という文字の形状になぞらえて表している。 28

ハ ③・④では、筆者が子供だった頃の病院のイメージを「避病院」という独特の言葉を用いて説明し、⑤では、そのようなイメージが「現代社会では死が遠くなった」ことの遠因となっていると指摘している。 29

ニ ⑥～⑧で近代日本における死亡原因の変化について詳述しているのは、日本の医療がいかにして発展し、感染症や伝染病を克服してきたかということ、歴史的な背景まで含め説明するためである。 30

ホ ⑨で筆者は、「言い換えれば」というかたちで前の段落の内容を受け、高齢社会における医療の役割が疾病の予防と治療に集中するとの見解を示し、今後はさらに寿命が延びるであろうと予測している。 31

ヘ ⑩では、「いずれにせよ」という言葉を用いてこれまでの錯綜した議論を半ば強引にまとめ、最後に、生命の保続と延長をいたずらに求める人々を「魂の障害」であると厳しく批判している。 32

第三問 以下の問い（問一～問五）に答えよ。

問一 次のA～Dについて、傍線部の漢字と同じ漢字を含むものを、後の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

A ジュンシヨクを交えて語る。 33

- ① 負のジュンカンに陥る。
- ② 講和条約をヒジュンする。
- ③ 町内をジュンカイする。
- ④ キョウジュンの意を表する。
- ⑤ 雨水がシンジュンする。

B ソウダイな神話を生み出す。 34

- ① 弦楽器をエンソウする。
- ② 本のソウテイを整える。
- ③ 新たに学部をソウセツする。
- ④ 悪の温床をイツソウする。
- ⑤ 選手のソウコウ会を開く。

C 学生時代をタイダに過ごす。 35

- ① 道具一式をタイヨする。
- ② タイゼンとして構える。
- ③ 一進イッタイを繰り返す。
- ④ 労働者がタイギョウする。
- ⑤ ニンタイの限度を超える。

D 家族のためにシャニ無二働く。 36

- ① 樹木が視界をサエギる。
- ② 鍋で野菜をぐつぐつと二る。
- ③ 教科書を正確にウツす。
- ④ 走る馬の上から矢をイる。
- ⑤ 道路をナナめに横切る。

問二 次のA～Cの空欄に入る語を、後の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

- A 明鏡  水  37
- B 意気  天  38
- C 美辞  句  39
- ① 衝 ② 令 ③ 止 ④ 昇 ⑤ 至 ⑥ 麗

問三 次のA～Cのカタカナの語の意味に最も近いものを、後の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

- A レトリック  40
- B サマリー  41
- C メタファー  42
- ① 作品 ② 隠喩 ③ 口語 ④ 要約 ⑤ 修辞 ⑥ 対比

問四 次のA～Cの対義語として最も適当なものを、後の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

- A 多弁  43
- B 愛護  44
- C 革新  45
- ① 古参 ② 虐待 ③ 卑小 ④ 保守 ⑤ 攻略 ⑥ 寡黙

問五 次のA・Bの言葉の用法として不適当なものを、後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

A 関の山

46

- ① どれだけがんばったところで、二回戦進出が関の山だ。
- ② 前回までの状況を踏まえれば、今回が今後の関の山となる。
- ③ 私の力では、一週間に一冊読むのが関の山というものだ。
- ④ 苦手な衛生学の試験では、及第点を取るのが関の山だろう。

B アドバンテージ

47

- ① 技術革新により、市場における大きなアドバンテージを獲得した。
- ② 変化について行けず、これまでのアドバンテージを失ってしまった。
- ③ 増税が行われ、国内のアドバンテージに対する意欲は低下した。
- ④ 留学によって習得した語学力は、今後大きなアドバンテージとなる。